

アジアのビジネスチャンスを掴む — 社会・文化の理解を踏まえて —



全**10**回

毎**水曜日**開催

午後7時～8時30分

10人 (先着順)

各回受講可

アジア市場は大きなビジネスチャンスに溢れています。このビジネスチャンスを掴むには“アジアと共に発展”するという志を持って経営することが大切です。アジアでの経営、さらには背後にある社会や文化について理解できるよう、最新の情報や動向を踏まえながら講義します。

- 平成 22 年
- 第 1 回 **7月14日** 講師：池島 政広 (亜細亜大学大学院アジア・国際経営戦略研究科委員長)
中国巨大市場を掴む企業の戦略要因
- 第 2 回 **8月18日** 講師：石川 幸一 (亜細亜大学アジア研究所教授)
新段階に入った東アジアの地域統合と企業の対応
- 第 3 回 **9月 8日** 講師：飯高 敏弘 (株式会社 i.project 代表取締役社長、アジア・国際経営戦略学会副会長)
中国市場でのベンチャー展開
- 第 4 回 **10月13日** 講師：西澤 正樹 (亜細亜大学アジア研究所教授)
国際中堅企業のアジア進出と地域産業政策
- 第 5 回 **11月10日** 講師：高島 大浩 (日本貿易振興機構(ジェトロ)総務部広報課長)
タイを中心とする日本企業によるメコン地域での展開について— 混乱するタイをどう見極めるか —
- 第 6 回 **12月 8日** 講師：容 應英 (亜細亜大学経営学部教授)
中国理解の三つのキーワード
- 平成 23 年
- 第 7 回 **1月12日** 講師：安登 利幸 (亜細亜大学大学院アジア・国際経営戦略研究科教授)
アジア市場の変貌と中国企業の海外戦略
- 第 8 回 **2月 9日** 講師：三橋 秀彦 (亜細亜大学国際関係学部准教授)
中国企業の異文化経営
- 第 9 回 **3月 9日** 講師：香山 俊巳 (株式会社ケイズビュー代表取締役、アジアコンテンツビジネス研究会副会長)
中小企業の中国・アジア展開論
- 第 10 回 **3月23日** 講師：鄭 林根 (有限責任監査法人トーマツ 中国室)
中国経済成長の持続可能性と対中投資・対日投資の方向性

【会場】 三鷹ネットワーク大学

【お申込み・お問い合わせ】 三鷹ネットワーク大学

〒181-0013

東京都三鷹市下連雀 3-24-3 三鷹駅前協同ビル3階

TEL. 0422-40-0313

<http://mitaka-univ.org/>

受講料

	各 回	通し受講
一 般	3,000円	27,000円
市 民	2,100円	18,900円
市民学生	1,800円	16,200円
会 員	1,500円	13,500円

ビジネス 関連	亜細亜大学、アジア・国際経営戦略学会、アジアコンテンツビジネス研究会共同企画講座	B104
	アジアのビジネスチャンスを掴む 社会・文化の理解を踏まえて	0400

講座趣旨		講座開催概要														
<p>このところ、先進国の経済は極めて厳しい状況に置かれています。日本経済も将来の明るい出口が見えず、混沌としております。このような中で、中国をはじめとしたアジア諸国は経済成長を続けており、企業にとって大きなビジネスチャンスに溢れています。とりわけ、少子・高齢化が確実に進む日本は、内需か外需という従来型の論議を超えて、日本を含めたアジアの市場でビジネスを展開するという意識を強く持たねばなりません。</p> <p>アジア市場に世界の企業が注目し、激しい市場獲得競争を繰り広げております。また、行政面、ビジネス慣習、従業員の価値観の違いなどを背景とした諸々のリスクが大きいことも事実であります。このような状況を踏まえて、いかにビジネスチャンスを掴むかは、今後の日本の企業の発展にとって大きな課題になっております。</p> <p>このビジネスチャンスをしっかり掴むには、“アジアと共に発展”するというスケールの大きな志を持って経営することが大事です。つまりは、進出先の国民の豊かさ、さらにはアジアの社会が繁栄するという視点でのビジネス展開です。そのためには、アジアでの経営・経済活動の理解はもちろんのこと、その背後にある社会や文化までも良く理解する必要があります。</p> <p>以上のような問題につきまして、最新の情報や動向を踏まえて、分かりやすい講義をいたします。ビジネスチャンスに溢れるアジアにご関心のある企業の方々、さらにはアジアの動きを知りたい市民の方々にご参加いただければと思います。</p>		<p>日程 平成22年 7月14日、8月18日、9月8日、10月13日、11月10日、12月8日、平成23年 1月12日、2月9日、3月9日、3月23日</p> <p>いずれも水曜日</p> <p>時間 午後7時～8時30分</p> <p>定員 10人(先着順)</p> <p>回数 全10回</p> <table border="1"> <tr> <td rowspan="4">受講料</td> <td></td> <td>各回</td> <td>通し受講</td> </tr> <tr> <td>一般</td> <td>3,000 円</td> <td>27,000 円</td> </tr> <tr> <td>市民</td> <td>2,100 円</td> <td>18,900 円</td> </tr> <tr> <td>市民学生会員</td> <td>1,800 円</td> <td>16,200 円</td> </tr> </table> <p>教材 レジューメ資料 ほか</p> <p>難易度</p> <p>会場 三鷹ネットワーク大学 教室A</p> <p>申し込み ネット申込可 申込受付:6月8日(火) 午前9時30分～</p>		受講料		各回	通し受講	一般	3,000 円	27,000 円	市民	2,100 円	18,900 円	市民学生会員	1,800 円	16,200 円
受講料		各回	通し受講													
	一般	3,000 円	27,000 円													
	市民	2,100 円	18,900 円													
	市民学生会員	1,800 円	16,200 円													

第1回 7月14日	講師 池島 政広 亜細亜大学大学院アジア・国際経営戦略研究科委員長
	<p>中国巨大市場を掴む企業の戦略要因</p> <p>日本経済の将来展望が開けない中で、多くの企業が活力を失いかけている。しかし、このような閉塞感が満ちている時代でも、元気のある企業が存在している。これら企業は、経済成長の高いアジア、とりわけ巨大な市場である中国での存在感が高い。今後、益々この市場でのビジネス展開の成否が企業の盛衰を左右してくる。巨大市場である故に、世界の企業が激しい競争を繰り広げている。そこで成功するには、日本企業が持つ技術力をブランド力に昇華していくことが大事である。これに関わる、商品開発の現地化、明快な情報発信、パートナーシップ、日中やアジアの繁栄という視点の大切さ等の戦略要因について実態調査の結果を踏まえて解説する。</p>
第2回 8月18日	講師 石川 幸一 亜細亜大学アジア研究所教授
	<p>新段階に入った東アジアの地域統合と企業の対応</p> <p>2010年は東アジアの地域統合にとり画期的な年となった。ASEAN 自由貿易地域(AFTA)、ASEANと中国のFTA、ASEANと韓国のFTAが、関税を撤廃し、自由貿易地域がほぼ実現した。また、ASEANと豪州、ニュージーランドとのFTA、ASEANとインドのFTAが発効した。日本とのEPAは2008年に発効しており、ASEANをハブとする主要国とのFTAネットワークが完成したのである。</p> <p>企業は、東アジアのFTAを比較検討し、調達、販売、生産をどこで行うかという東アジアの事業戦略を再構築する必要に迫られている。今回は、東アジアのFTAネットワークの概要と問題点を明らかにし、企業の対応を考える。</p>

第3回 9月8日	講師	飯高 敏弘 株式会社 i.project 代表取締役社長 アジア・国際経営戦略学会副会長
	中国市場でのベンチャー展開	
日本発のソフトソリューションを中国市場に販売するためのベンチャービジネス設立とその後の中国市場でのベンチャー展開の実際、アジア・国際経営戦略学会の日中ビジネス・インキュベータとしての役割、ビジネス事例の紹介（未成功事例）を講義します。1997年から今日に至るまで、中国とビジネスを通じて関わってきておりますが、講義は、これを2006年までの富士通勤務時代と、2007年に自らベンチャービジネスを設立してからの中国との関わりに分け、実体験を中心に説明します。会社設立に至った背景と中国での会社形態を外資とした事情に加え、実際に会社を設立する事務的な手続などについても解説して参ります。		
第4回 10月13日	講師	西澤 正樹 亜細亜大学アジア研究所教授
	国際中堅企業のアジア進出と地域産業政策	
<p>1) 中国の産業地域発展の経緯と現状 新中国建国の1949年以降の産業地域発展を概観し、近年の中国「辺境」地域開発の状況を報告する。「中国」は広く多様であるから、「中国の地域産業」を観る基軸を考える。</p> <p>2) 中堅・中小企業のアジア進出と日本の「地域産業政策」 中堅・中小企業のアジア進出が日本の地域経済に及ぼす効果と影響について考える。地域の中堅・中小企業のアジア進出と「地域産業政策」の取り組みについて紹介する。 （長野県諏訪地域、茨城県日立地域、東京都大田地域など）</p>		
第5回 11月10日	講師	高島 大浩 日本貿易振興機構（ジェトロ）総務部広報課長
	タイを中心とする日本企業によるメコン地域での展開について - 混乱するタイをどう見極めるか -	
「微笑みの国」タイには、6,000社を超す日系企業が拠点を構える。自動車や電機・電子産業を中心に工業化が進展し、日本の産業界にとっては、中国華東地域や華南に匹敵する戦略的な製造拠点となっている。ところが、タクシン政権発足以降、タイでは社会構造的な変化が起き、「赤シャツ」「黄シャツ」に代表される対立が顕在化し、2010年3月から5月にかけての反政府行動は、軍によるデモ隊の強制排除に至った。このようなタイの社会構造の変化を考察すると共に、中長期的な視点に立脚し日本企業にとってタイの位置づけを再評価する。加えて、周辺のカンボジア、ラオスといったメコン地域諸国の実情と将来性も併せて地域大の議論を促したい。		
第6回 12月8日	講師	容 應英 亜細亜大学経営学部教授
	中国理解の三つのキーワード	
中国の飛躍的な経済発展の中で、中国の表面だけに触れ「親中」か「嫌中」となり、中国への進出、あるいはビジネスの縮小ないし撤退するなど、早合点する日本企業が多く存在すると思われる。このような背景をふまえて、本講義は中国の本質を理解するために三つのキーワードをとりあげ、近代化の道程、文化と歴史、イデオロギーの三側面から中国を分析する。		
第7回 1月12日	講師	安登 利幸 亜細亜大学大学院アジア・国際経営戦略研究科教授
	アジア市場の変貌と中国企業の海外戦略	
サブプライムローンに起因する世界不況から逸早く抜け出した中国経済は、様々な問題を抱えつつも引き続き高成長を継続している。一方、その他のアジア市場を見ても政治的な問題を抱えてはいるものの、相対的に高い成長力を維持している。このようなアジア市場の動向を確認し、併せて、近年、急速に実力を付けて来ている中国企業の海外戦略について考察する。		

第 8 回 2 月 9 日	講 師	三橋 秀彦 亜細亜大学国際関係学部准教授
	中国企業の異文化経営	
<p>中国政府による対外直接投資政策は開始後、すでに 10 年が経過し、ここ数年は新たな段階に入っている。中国企業による華々しい M & A は、その都度、世界の注目を集めたが、その一方で、多くの中国企業が辿ったその後の軌跡は海外展開の難しさを象徴するものであった。こうした中国企業の活発な海外展開に呼応し、中国国内でも近年、異文化経営論が活況を呈している。では、中国企業にとって海外における経営上の「異文化」とはどのようなものだろうか。また、中国企業は、どこに自らの経営上の強みを見出そうとしているのか。本講義では、中国からみた「異文化経営」について、ケーススタディを交えつつ考えてみたい。</p>		
第 9 回 3 月 9 日	講 師	香山 俊巳 株式会社ケイズビュー代表取締役 アジアコンテンツビジネス研究会副会長
	中小企業の中国・アジア展開論	
<p>低成長下の日本市場において、アジアを内需にと大企業を中心に展開を行っています。韓国の事例を見るまでもなく、中小企業も自己の事業性の特性を見極めて、ビジョン・競争戦略・オペレーションを世界的な視野で行っていく必要があります。世界の工場は中国の華南地域からベトナムを核に拡散していき、市場は上海を中心としながらもアジア各地に広がり、アジア全域が内需、外需等を獲得している環境の中、このビジネスをどう自社に取り込むかを実例を交えながら解説します。</p>		
第 10 回 3 月 23 日	講 師	鄭 林根 有限責任監査法人トーマツ 中国室
	中国経済成長の持続可能性と対中投資・対日投資の方向性	
<p>中国の今年 1～3 月の国内総生産（GDP）が 8 兆 577 億元（約 110 兆 1,800 億円）となり、昨年同期比で 11.9% 増加し、2 期連続での 2 けた成長を記録。 中国は金融危機の影響が表面化する前の水準まで回復しており、その経済の好調ぶりがさらに鮮明になった。世界経済も今年になってようやく、最悪期は脱したという見方が有力となり、その中で、中国、日本をはじめとするアジア諸国が世界経済の景気回復のけん引役として期待される役割は大きい。 本講座は中国経済成長の持続可能性を考察し、今年の日本企業の対中投資、そして中国企業の対日投資の状況を踏まえ、今後日本企業の対中投資そして対日投資の受け入れについて、考えてみたい。</p>		

講師紹介（敬称略）

第1回 池島 政広(いけじま まさひろ) 亜細亜大学前学長。慶應義塾大学大学院商学研究科博士課程修了。商学博士（慶應義塾大学）。経済産業省産業構造審議会新成長政策部会経営・知的資産小委員会委員長、独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構業務評価委員会委員長、アジア・国際経営戦略学会会長、アジアコンテンツビジネス研究会会長、日本私学経営活性化協会会長などを務める。主な著書・論文として『戦略と研究開発の統合メカニズム』（白桃書房、1999）、「知的資産経営による企業の再生」（『三田商学研究』第50巻第3号、07）など。

第2回 石川 幸一(いしかわ こういち) 1973年から05年までジェットロ（日本貿易振興機構）にてアジア経済関係の調査に従事。その間、ジャカルタと香港に駐在。05年から亜細亜大学アジア研究所教授。専門は東南アジアの経済発展と地域統合。著書に、『ASEANの経済発展と日本』（日本評論社、共著）『東アジアの地域主義と日本』（文真堂、共著）『FTAハンドブック2007』（ジェットロ、共編著）など多数。

第3回 飯高 敏弘(いいたか としひろ) 1945年生まれ。69年富士通株式会社に入社。97年富士通（上海）副総経理に赴任。99年北京富士通総経理に赴任。03年中国推進室勤務常務理事。04年富士通（中国）信息系统有限公司総経理として赴任。05年上海市名誉市民。06年富士通株式会社常任顧問。07年株式会社 i . p r o j e c t を設立、代表取締役社長。埃高（上海）を設立、董事長。08年富士通株式会社退任。

第4回 西澤 正樹(にしざわ まさき) 1956年 長野県生れ 専修大学大学院経済学研究科修士課程修了。専門領域は、国際中堅企業論、地域産業振興戦略、中国産業地域研究。主な著書・論文は『元気なまちのスゴイしかけ』（共著、PHP研究所、2006年）『中国「辺境」の地域経済と企業～内蒙古自治区呼倫貝爾市～』『中国「辺境」の地域経済と企業（2）～雲南省昆明市と西双版纳自治州～』『中国「辺境」の地域経済と企業（3）～広西壮族自治区～』（それぞれ『アジア研究所紀要』第33、35、36号、2007、09、10年）

第5回 高島 大浩(たかしま ともひろ) 1990年、日本貿易振興会入会。海外駐在経験は、93年よりナイジェリア・ラゴス（2年半）、96年より英国・ロンドン（3年）に加え、04年12月よりタイ・バンコク（3年半）、08年7月より現職。バンコクでは、タイ、カンボジア、ラオスへの日本企業の進出支援や現地産業界との対話などを担当。現在もタイを中心にメコン地域に関する講演や解説などを行う。

第6回 容 應英(よう おうゆ) 東京大学大学院社会学研究科国際関係論専門課程博士課程修了。社会学博士（東京大学）。国立シンガポール大学専任講師、Harvard-Yenching Institute の Associate を経て亜細亜大学経営学部教授。研究領域は近代日中関係史、国際関係論、現代中国研究。主な著書・論文は『香港開埠與開家』、“The Chinese Education Mission in the 1870s: Comparison with the Chinese Students in Japan in the 1900s”、“日本・香港のコンテンツ産業パートナーシップによる対中進出：CEPAの活用及び知財権保護”。

第7回 安登 利幸(あんどう としゆき) 1975年京都大学卒。同年日本開発銀行（現、株式会社日本政策投資銀行）入行。米国ワシントンDC 駐在員、本店調査部、営業部、大阪支店等に勤務の後、財団法人日本経済研究所専務理事を経て05年より現職。専門は企業ファイナンス、起業論、中小企業金融など。近年は上海、ソウル等を訪問しアジア経済の動向をウォッチしている。

第8回 三橋 秀彦(みつはし ひでひこ) 1987年一橋大学社会学部卒業後、在香港日本国総領事館専門調査員（94 - 97年）を経て、97年一橋大学大学院社会学研究科博士後期課程修了。88年より、亜細亜大学国際関係学部勤務。比較社会学および現代中国論を専攻。

第9回 香山 俊巳(こうやま としみ) 1990年大日本印刷入社後、海外事業部にて国際企業の最適生産、日本市場でのトータルソリューション事業を展開。01年に独立後、コンテンツ、印刷・素材分野の事業展開を行っている。05年にNPO理事として日中コンテンツ産業研究会を立ち上げ、官民連携・支援事業の下、日中コンテンツ企業連携の先導的な役割を担う。現在、株式会社ケイズビュー代表取締役、株式会社 Lemay Printing Japan 代表取締役、早稲田大学大学院公共経営研究科で研究活動を行っている。

第10回 鄭 林根(てい りんこん) 1984年から86年まで北京大学大学院修了。95年から98年横浜国立大学大学院修了。86年中国財政部入省。89年中国弁護士資格取得。90年から91年まで監査法人トーマツ研修生。98年監査法人トーマツ東京事務所中国室入所。現在に至る。著作：「中日・日中 会計・税務・投資用語辞典」（共著、中央経済社）「中国新企業所得税の実務」（共著、清文社）ほか。翻訳：「租税法」（東京大学教授金子宏、弘文堂。共訳、中国法律出版社）

お申し込み方法

1 受講者登録・講座のお申し込み

三鷹ネットワーク大学で受講される場合は、まず受講者登録の手続きが必要となります。講座に申し込みをする前に、必ず受講者登録を済ませてください。受講者登録は以下の方法で行うことができます。

*すでに受講者登録を済まされている方は必要ありません。

インターネットをご利用にならない方

(1) 受講者登録

最初のお申し込みの際に、募集要項に添付されている受講者登録用紙に必要な事項をご記入のうえ、講座のお申し込みと一緒に事務局へ郵送、ファックス、持参でご提出ください。事務局でお客様の受講者番号を発行し、後日、メール便でお客様の受講者番号をお届けします。受講者登録をしていただくことにより、今後お申し込みをされる際に、ご住所等、個人情報を記入する手間がなくなります。

(2) 講座のお申し込み

添付の申込用紙に受講者番号、必要事項をご記入のうえ、郵送、ファックス、持参で三鷹ネットワーク大学までお申し込みください。受講者番号がお手元に届いていない場合には受講者番号の欄は空白のままでご提出ください。

インターネットをご利用の方

(1) 受講者登録

三鷹ネットワーク大学講座案内 (<https://www.kouza.mitaka-univ.org/>) にアクセスし、「受講者登録」をクリックして、新規受講者登録をしてください。受講者登録が完了すると、受講者番号とパスワードが発行されます。

(2) 講座のお申し込み

インターネットで申し込みができる講座

受講者番号とパスワードでログインすると、講座のお申し込みができます。

インターネットで申し込みができない講座

募集要項に添付されている申込用紙、または、インターネットから PDF ファイルで申込用紙をダウンロードして、受講者番号、必要事項をご記入のうえ、郵送、ファックス、持参で三鷹ネットワーク大学までお申し込みください。

2 受講料のお支払い

受講予定者の方には、受講料のお支払い方法についてのご案内をメール便でお送りします。郵便振替、現金等、書類に記載されている方法で、お支払いいただきますようお願いいたします。お支払いが確認できた時点で、受講が確定します。お支払い方法は、講座によって異なる場合がありますので、詳しくはお送りする書類をご確認ください。

いずれの場合も、受講予定者としてご通知した方からの受講料のお支払いを事務局が確認できた時点で、受講が確定します。

期日までに受講料をお支払いいただけない場合には、お申し込みを取り消す場合がありますので、ご注意ください。

3 受講証のお渡し

お支払いが確認できた方には受講証をお送りします。なお、講座開講直前にお申し込みの場合は、受講証を講座当日に受付でお渡すことがあります。講座によって異なる場合がありますので、詳しくはお送りする書類をご確認ください。

4 個人情報について

お申し込みの際にご記入いただいたお客様の個人情報は、個人情報保護法に基づいて適切に管理するとともに、受講決定通知および講座のご案内目的のために使用します。

【ご受講について】

受講料のお支払いについて

受講予定者の方には、受講料のお支払い方法についてのご案内をメール便でお送りします。郵便振替、現金等、書類に記載されている方法で、お支払いいただきますようお願いいたします。受講予定者としてご通知した方からの受講料のお支払いを事務局が確認できた時点で、受講が確定します。期日までに受講料をお支払いいただけない場合には、お申し込みを取り消す場合がありますのでご注意ください。お支払い方法は、講座によって異なる場合がありますので、詳しくはお送りする書類をご確認ください。

受講のキャンセルについて

(1) 講座申し込み後にお客様の事情により受講をキャンセルする場合は、至急事務局まで電話でご連絡ください。

(2) 一度申し込んだ講座を別の講座に変更することはできません。申し込み済みの講座のキャンセルをしてから、再度希望の講座にお申し込みください。ただし、講座申込期間内のみ受け付けます。

(3) 受講料入金後のキャンセルについて

1. 講座前日までにキャンセルの申し出があった場合

キャンセルの申し出があった日から2週間以内に事務局まで受け取りに来ていただければ、全額返金します。2週間を過ぎても受け取りに来なかった場合は500円の手数料を差し引いた残額を郵便小為替で送付します。

2. 講座当日（講座開始前）にキャンセルの申し出があった場合

500円の手数料を差し引いた残額を郵便小為替で送付します。

3. キャンセルの申し出がなく当日欠席した場合

受講料の返金はいたしません。

受講資格について

受講は原則としてお申し込みされた本人のみとさせていただきます。受講資格を他の人に譲渡することはできません。

三鷹ネットワーク大学 受講者登録用紙

*すでに受講者登録を済まされている方は必要ありません。インターネットでもご登録ができます。

太枠内の項目は必須事項です。

登録日：平成 年 月 日

お名前	フリガナ	性別	男・女	生年月日	西暦 年 月 日
受講者区分 該当する番号を1つ選んでつけてください。	(1)【市民】三鷹市にお住まいの方(学生は除く) (2)【市民(在勤・在学)】三鷹市外にお住まいで、三鷹市内の職場・学校に通われている方 (3)【市民学生】三鷹市にお住まいの学生の方 (4)【会員】勤務先、学校等が三鷹ネットワーク大学の正会員または賛助会員の方 (5)【一般】三鷹市外にお住まいの方				

Eメール					
緊急連絡先	携帯電話番号：		携帯Eメール：		

《郵便物の送付先 振込用紙や受講証等のお送り先を、下記から選んでください。》

郵便物送付先	ご自宅	勤務先
---------------	-----	-----

《ご自宅》

ご住所	〒				
電話番号		F A X			

《勤務先・学校名等》

勤務先名称	学生の場合は学校名と学部・学科名				
勤務先部署名	学生の場合は学籍番号		役職名		
ご住所	〒				
電話番号		F A X			

《ご職業等》 職種・業種について該当するものにそれぞれをつけてください。

勤務先業種	官公庁 団体 教育 宗教 医療 建設 金融・保険 製造 運輸・通信 農林水産 電気・水道 不動産 卸・小売 飲食 IT・ソフト その他				
職業(職種)	経営者 役員・管理職 一般事務 営業 販売・サービス 生産管理 研究開発 専門職(医師・弁護士等) 教職 自由業 専業主婦 無職 その他				

《三鷹ネットワーク大学からの情報提供ご希望の有無》

情報提供	希望する	希望しない
-------------	------	-------

《興味をお持ちの分野》 3つまでお選びください。

1経営・経済学 2歴史学 3法学 4文学 5工学 6教育学 7福祉・医療 8介護・看護 9コンピューターサイエンス 10アジア・アフリカ系言語 11総合政策 12国際関係論 13政治学 14天文学 15農学 16臨床心理学 17カウンセリング学 18社会心理学 19国際コミュニケーション学 20スポーツ医学 21マーケティング学 22人間環境学 23キャリアデザイン等 24社会福祉学 25情報科学 26情報コミュニケーション学 27グローバルビジネス学 28宗教学 29平和学 30生物学 31化学 32数学 33教養学 34建築学 35その他									
---	--	--	--	--	--	--	--	--	--

受講者登録について *すでに受講者登録を済まされている方は必要ありません。

三鷹ネットワーク大学で受講される場合は、受講者登録の手続きが必要です。講座のお申し込みをする前に(講座のお申し込みと同時に)必ず受講者登録を済ませてください。ご登録をしていただくことにより、今後お申し込みされる際に、ご住所等、個人情報を入力する手間がなくなります。またインターネットからの申し込みも可能となります。

個人情報について

ご記入いただいたお客様の個人情報は、個人情報保護法に基づいて適切に管理するとともに、受講決定通知および講座のご案内目的のために使用します。

申込日：平成 年 月 日

受講者番号

電話番号

お名前

フリガナ

亜細亜大学、アジア・国際経営戦略学会、アジアコンテンツ産業研究会共同企画講座

【全回お申し込み】 申込欄に をご記入ください

申込欄	講座日程	受講料
	全回 通し受講 平成22年7月14日、8月18日、9月8日、10月13日、11月10日、12月8日 平成23年 1月12日、2月9日、3月9日、3月23日 いずれも水曜日 午後7時～8時30分 (全10回) [B1040400]	一般 27,000円 市民 18,900円 市民学生 16,200円 会員 13,500円

【各回ごとのお申し込み】 申込欄に をご記入ください

申込欄	講座日程	講座タイトル・講師	受講料
	第1回 7月14日	『中国巨大市場をつかむ企業の戦略要因』 池島 政広 亜細亜大学大学院アジア・国際経営戦略研究科委員長 [B1040401]	一般 3,000円 市民 2,100円 市民学生 1,800円 会員 1,500円
	第2回 8月18日	『新段階に入った東アジアの地域統合と企業の対応』 石川 幸一 亜細亜大学アジア研究所教授 [B1040402]	同上
	第3回 9月8日	『中国市場でのベンチャー展開』 飯高 敏弘 株式会社i.project 代表取締役社長 アジア・国際経営戦略学会副会長 [B1040403]	同上
	第4回 10月13日	『国際中堅企業のアジア進出と地域産業政策』 西澤 正樹 亜細亜大学アジア研究所教授 [C1040101]	同上
	第5回 11月10日	『タイを中心とする日本企業によるメコン地域での展開について - 混乱するタイをどう見極めるか - 』 高島 大浩 日本貿易振興機構(ジェトロ)総務部広報課長 [C1040102]	同上
	第6回 12月8日	『中国理解の三つのキーワード』 容 應英 亜細亜大学経営学部教授 [C1040103]	同上
	第7回 平成23年 1月12日	『アジア市場の変貌と中国企業の海外戦略』 安登 利幸 亜細亜大学大学院アジア・国際経営戦略研究科教授 [D1040101]	同上
	第8回 2月9日	『中国企業の異文化経営』 三橋 秀彦 亜細亜大学国際関係学部准教授 [D1040102]	同上
	第9回 3月9日	『中小企業の中国・アジア展開論』 香山 俊巳 株式会社ケイズビュー代表取締役 アジアコンテンツビジネス研究会副会長 [D1040103]	同上
	第10回 3月23日	『中国経済成長の持続可能性と対中投資・対日投資の方向性』 鄭 林根 有限責任監査法人トーマツ 中国室 [D1040104]	同上

ファックスでお送りいただく場合には、着信確認のためのお電話をお願いいたします。

電話：0422(40)0313 ファックス：0422(40)0314

この講座をどこでお知りになりましたか？(該当するものに を1つだけご記入ください)

- | | | |
|---------------------|----------------|---------------|
| 1. 三鷹ネットワーク大学ホームページ | 4. ポスター / チラシ | 7. 友人・知人よりの紹介 |
| 2. ダイレクトメール | 5. 学内ポスター・チラシ | 8. 新聞記事等 |
| 3. 三鷹市広報 | 6. 講師・教職員よりの紹介 | 9. その他 () |